

DXでつながる行政・ひらく未来のまち

～デジタルで暮らしをより便利に～

インターネットが広く社会に浸透し、デジタルは私たちの生活に欠かせないものとなりました。

町が行う行政サービスにおいても、デジタル技術を積極的に活用し、誰もがより便利で、安心して暮らせるまちづくりを目指すため、「幸田町DX推進方針」を策定し、進めています。

DXってなに？



DX=デジタルトランスフォーメーションとは、デジタル技術を活用し、ビジネス、社会を根本から変え、生活をより良いものに変革していくことをいいます。

DXと聞くと難しい言葉に感じるかもしれませんが、身近なものでは、インターネットによる買い物やスーパーなどのセルフレジ、ロボット掃除機などでDXが活用されています。

なぜDXが必要なの？



2040年には人口減少と高齢化が最大に達するといわれています。自治体では、労働の担い手が減っても現在と同じ機能を維持し、変わらぬサービスを行っていくために、行政サービスのデジタル化に取り組む必要が出てきました。国や県においても、自治体が重点的に取り組むべき事項をまとめた「自治体DX推進計画」や「あいちDX推進プラン2025」を策定したほか、デジタル庁を発足させるなど、デジタル社会の構築に向けた取り組みを着実に進め、業務効率化を図ることで、行政サービスの更なる向上につなげていきます。

町は、これまでも電子申請やインターネットから災害状況が確認できるサービスの導入など、デジタル化に取り組んでいます。行政サービスを将来にわたり安定的に提供し、町民サービスを更に向上させることが必要です。

幸田町DX推進方針とは？



住みたくなる町になるべく更なる成長と地域活性化を目指し、まちづくり包括連携協定の締結や幸田町DX推進ラボなどを通して、デジタルによる地域課題の解決に取り組んできました。また、令和5年度には副町長をCDO（デジタル化施策の総括）として任命し、民間からCDO補佐官を迎え、DX推進体制の確立、推進方針の策定および実行に向けて取り組んでいます。

その中で、デジタル化による利便性を実感できるまちづくりを実現するために、施策の3つの柱として

- ①町民の暮らしのためのDX
- ②地域の課題解決と経済活性化のためのDX
- ③持続可能な行政運営のためのDX

を定めた幸田町DX推進方針を策定しました。具体的な施策として個別取組を進めています。また、個別取組スケジュールについては「取組継続、導入検討、導入、利用範囲拡大」のタイミングごとに進捗管理しています。



◀計画の詳細はこちら

主な取組

- 情報発信LINEの導入
町からのお知らせ、各種申請、防災情報、通報機能など
- オンライン申請手続きの推進
あいち・電子申請における保育園の入所申請など、マイナポータル活用
- 子育て応援アプリの導入
- マイナンバーカードの普及促進

今後の取組

- 自治体情報システムの標準化・共通化
全国の自治体が国の定める標準仕様に準拠した住民記録をはじめとする20業務をシステムに移行 *詳細については別号にて紹介予定
- 災害時被災者生活再建支援および安否確認に紐づく情報一元化事業
・災害時における建物被害認定調査のための被災者生活再建支援システム
・災害時における住民安否状況を迅速に把握するための安否確認サービス
- ローコードツールなどを活用した電子申請

国や県の補助金を活用しながら、取り組みを実施しています

1 新しい地方経済・生活環境創生交付金制度(旧デジ田交付金)

●図書館利用 デジタル化事業

運用年月 令和6年11月



利用予約や空き状況の確認が、自分のパソコンやスマホなどからできます。



詳細はこちら

●保育園ICTシステム 導入業務

運用年月 令和7年1月



公立保育園にて登降園などの保護者との連絡や配布物のデジタル化を行うICTシステムの導入に活用されています。

●アンダーパス自動化 および情報配信事業

運用年月 令和7年3月



ゲリラ豪雨時における異常発生の早期検知と迅速な対応が可能となり、水害リスクを最小限に抑えることができます。

●災害時被災者生活再建支援および安否確認に紐づく情報一元化事業

災害時における建物被害認定調査および安否確認システム

運用予定年月

令和8年3月

2 元気な愛知の市町村づくり補助金(DX推進枠)

●LINEを活用した住民・行政間DXサービス導入事業

便利な機能(例)

運用年月 令和6年2月

ごみの分別

ごみの分別方法や行政区ごとの収集日がわかります。

休日診療

休日・夜間の急病の際の緊急当直機関を調べることができます。

通報

道路や河川などの異常を発見した際に、すぐに通報することができます。

えこたんバス

時刻表や路線図を調べたり、利用バス停と時間を入力し、ルート検索をすることができます。

幸田町
公式LINE

友だち登録者数
4,875人
(9月1日時点)

友だち
募集中



主な配信情報



登録はこちら

紙ベースの業務を デジタル化へ

令和5年度から住民サービスの向上・業務改善のためのローコードツールを試験的に導入し、現在では職員がアプリを作成してDX化を進めています。ローコードツールとは、プログラミング知識が少なくても、業務のシステム化や効率化ができるツールのことです。

こんなことに活用されています

①アプリで駅伝・ジョギング大会参加申込

令和6年度から、幸田町新春駅伝・ファミリージョギング大会のアプリ受付を開始しました。



今までは、窓口で申し込みを行う必要がありましたが、オンライン申請も可能となり、昨年度は約半数の申し込みがアプリで行われました。

②親切行政・災害対応案件受付フォーム

令和6年度から、役場職員から親切班(道路や河川の維持管理・修繕の直営部隊)への依頼が、アプリで行われるようになりました。今まで電話などで依頼していた内容を、マップ機能や写真添付機能を活用して依頼することでより正確な指示ができるようになりました。



依頼場所を
マップで表示

ローコードツールを活用したその他アプリ(一部抜粋)	業務概要
職員採用試験の受験申込	職員採用試験の受験申込受付業務
一時保育受付申請	菱池保育園で実施している一時保育の申請受付業務
児童クラブ入所申請	児童クラブの入所申請受付業務

問 合 せ

企画政策課 DX推進グループ ☎(0564)62-1111(内線441) FAX(0564)63-5149